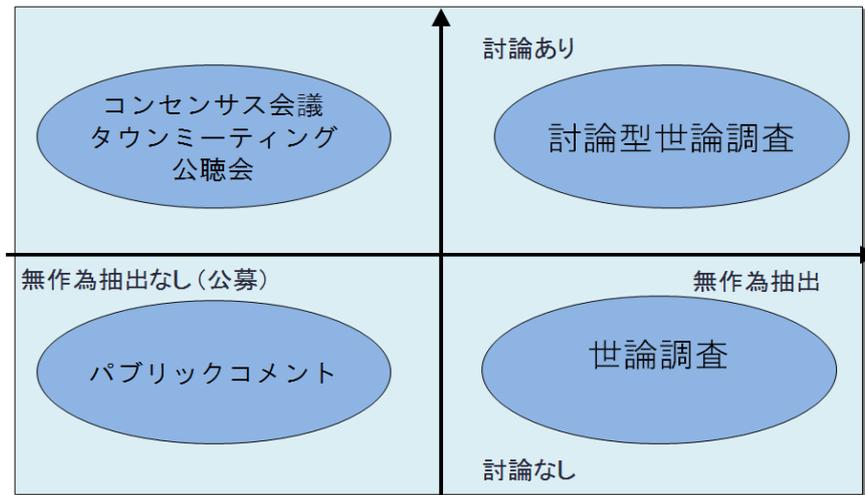


## 意見聴取の手法の違いと政策決定との関係

曾根泰教（慶應義塾大学）

### 1. 討論性と無作為（公募制）による一般的な整理



### 2. 意見聴取の方法の特徴

	代表性	十分な情報	オープン アクセス	討論の確 保	注意点
パブリックコメント	×	△	○	×	動員の可能性
意見聴取会	×	△	○	△	動員の可能性
世論調査	○	×	×	×	表面的な意見
討論型世論調査	○	○	×	○	実施コスト
議会	○	○	×	○	正統性は選挙

### 3. 目的による意見聴取の方法

#### ① 政策決定との関係

- ・「公式な政策決定」と「政策決定への公式なインプット」とを区別すべき
- ・選挙、住民投票、裁判員制度は政治的な正統性がある

#### ② 見逃した争点、重要な観点の発見：パブリックコメント、意見聴取会等

#### ③ 利害対立の論点明示：ステークホルダー（利害関係者）による意見聴取会

#### ④ 国民の意見として参考にするための条件（代表性と情報性）

- ・代表性は政治的代表性(正統性)と統計的代表性の区別が必要
- ・討論型世論調査：事前（世論調査）→事後（起こりうる意見変化の方向性の把握）
- ・一般の世論調査：公式のインプットではないが、意見分布の把握（情報性に欠ける）